

みずほCustomer Desk Report 2020/02/10号 (As of 2020/02/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.92
TKY 9:00AM	109.97	1.0981	120.74	GBP/USD	1.2928
SYD-NY High	110.04	1.0985	120.78	AUD/USD	0.6731
SYD-NY Low	109.53	1.0942	120.11		
NY 5:00 PM	109.76	1.0944	120.16		
NY DOW	29,102.51	▲ 277.26	日本2年債	-0.150	▲ 2.00bp
NASDAQ	9,520.51	▲ 51.64	日本10年債	-0.040	▲ 2.00bp
S&P	3,327.71	▲ 18.07	米国2年債	1.4001	▲ 4.81bp
日経平均	23,827.98	▲ 45.61	米国5年債	1.4035	▲ 5.88bp
TOPIX	1,732.14	▲ 4.84	米国10年債	1.5809	▲ 6.22bp
シカゴ日経先物	23,680.00	▲ 280.00	独10年債	-0.3870	▲ 1.85bp
ロンドンFT	7,466.70	▲ 38.09	英10年債	0.5670	▲ 1.40bp
DAX	13,513.81	▲ 61.01	豪10年債	1.0560	▲ 2.70bp
ハンセン指数	27,404.27	▲ 89.43	USDJPY 1M Vol	4.94	0.01%
上海総合	2,875.96	9.45	USDJPY 3M Vol	5.16	0.10%
NY金	1,573.40	3.40	USDJPY 6M Vol	5.41	0.05%
WTI	50.32	▲ 0.63	USDJPY 1M 25RR	-1.20	Yen Call Over
CRB指数	170.12	▲ 0.35	EURJPY 3M Vol	5.80	0.10%
ドルインデックス	98.68	0.19	EURJPY 6M Vol	6.03	0.09%

東京	東京時間のドル円は109.97レベルでオープン。東京オープン前には110.04の高値をつけていたものの、米雇用統計が控えるなか利益確定売りが観測されたことや、新型コロナウイルス感染拡大の報道を背景にドル円は下押しし、109.81まで下落。その後は同水準で推移していたものの、東京クロス前にドルが買い上げられ、結局109.98レベルにて海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.98レベルでオープン。ウイルス感染拡大によるリスクオフのムードが継続。米10年債利回りの低下を横目に、109.67まで売られ、109.87レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0980レベルでオープン。独12月鉱工業生産指数が前月比-3.5%(予想:-0.2%)と、2009年以降最大の低下を示し、製造業の低迷がドイツ経済全体の重しとなっていることが浮き彫りとなると、1.0948に低下。1.0965レベルでNYに渡った。(ロンドンタイムズ 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米雇用統計発表を控え様子見ムードが強まる中、110円手前での小動きでスタート。その後、「横浜港停泊中のクルーズ船で新たに41人の感染者を確認」、「香港政府、公務員在宅勤務を1週間延長」、「シンガポール、感染症警戒レベルを引き上げ」など新型コロナウイルス関連の報道が相次ぐ中、リスクオフの円買いが強まり、一時109.67まで下落し、109.87レベルでNYオープン。朝方は米1月雇用統計の結果が発表され、非農業部門雇用者数が予想を上回ったことに買いで反応し一時110.02をつけるが、110円台での売り意欲の強まりや、コロナウイルスを巡る懸念に圧迫され、滞空時間は短かった。その後、米金利の低下と米株の上値重い推移を受けて、109.53まで下落するが、ユーロやポンドに対するドル買いにサポートされ、109.80近辺まで値を戻す。終盤は週末を控えて積極的な取引が手控えられ、結局、109.76レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、独12月鉱工業生産が10年ぶりの大幅減となったことが嫌気され、ユーロ売りが強まり1.0948まで下落し、1.0965レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計の結果を受けて1.0970近辺で振幅する。その後、米金利が低下したほか、ダウ平均が一時300ドル超の下げ幅を見せる中、ユーロ円の下落とともに、安値1.0942をつける。終盤も安値圏で小動きとなり、結局、1.0944レベルでクロス。

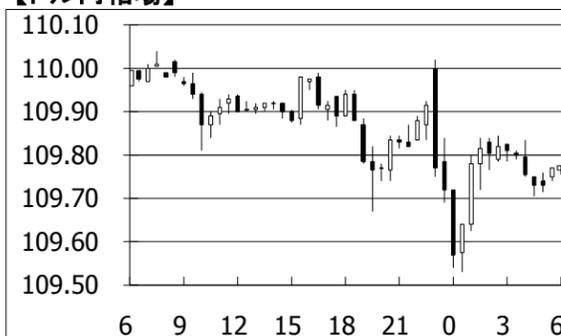
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月7日	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月 -3.5%	-0.2%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	1月 225k	165k
	22:30	米 失業率	1月 3.60%	3.5%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	1月 0.2%/3.1%	0.3%/3%
2月8日	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	12月 -0.2%	-0.1%

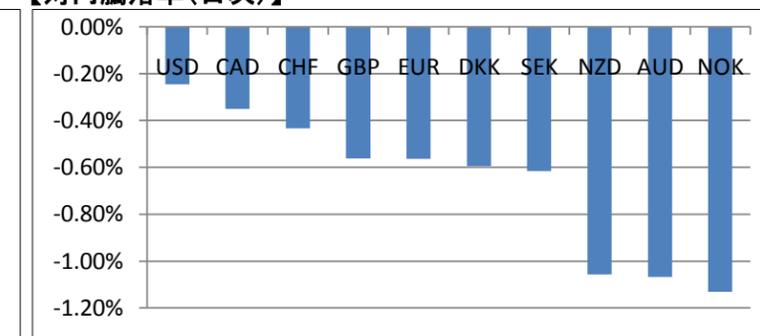
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月10日	10:30	中 PPI(前年比)	1月 0.0%	-0.5%
	10:30	中 CPI(前年比)	1月 4.9%	4.5%
	22:15	米 ボウマンECB理事 講演		
2月11日	03:45	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演		
	05:15	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 年初来高値更新なるか

新型コロナウイルスの影響で一時108.31まで下落したドル円であるが、2月に入り、マーケットの雰囲気は変化。これまでマーケットの重しとなっていた新型コロナウイルスの影響による世界経済の減退懸念は依然として熾るものの、米中第一段署名後に回復したとされる米経済の良好な経済指標を確認し、市場には楽観的なムードが広がっている。足元リスクオフの巻き戻しから米株価は高値を更新、リスクセンチメント改善によりドル円もゆるやかに下値を切り上げ110円を付ける展開となっている。

指標週である今週発表された米指標は、月曜日に発表されたISM製造業景況指数をはじめ、軒並み良好な数字を確認している。このまま本日控える雇用統計についても無難な結果となれば、米経済の底打ちを確認し、米株価は高値更新を続けるフェーズに突入する可能性がある。となれば、マーケットのリスクセンチメントは大幅に改善しドル円・クロス円は1月につけた高値を再度試すことになるだろう。ただし、コロナウイルスについては不透明感が残る中、ヘッドラインリスクには注視が必要であり、特に中国や中国と密接な経済関係にあるオーストラリアについては特に注意が必要だと思われる。そういったリスクに注視しつつもドル円は110円をしっかりとのせるシナリオとメインとし、下がったタイミングでは押し目買いを推奨したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田坂・谷舗 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア
								ブル	ベア
								10	10